

同推協だより

No.128

2022年 1月発行
神前地区同和教育推進協議会
Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp

啓発委員研修会 開催

延期となっていた啓発委員研修会が、昨年秋に開催されました。

1回目の研修では「同調圧力」について、研修部員さん手作りの紙芝居をもとに話し合いました。そもそも同調圧力とはどんなものか、自分の経験を出し合いながら意見交換しました。

2回目の研修では、「わたしのものさし」を用い、部落差別を中心とする様々な差別について話し合いました。

※「同調圧力」とは・・・暗黙のうちに少数意見に対し、圧力をかけていくこと。



私は、今年度初めて啓発委員研修会に参加させていただきました。初めはどんなものかもわからず、「人権について語り合うところ」と聞いてドキドキする自分がいました。実際に会場に行ってみると知らない方がほとんどだったので、大丈夫かなと不安になる気持ちもありましたが、司会の方をはじめ、参加者の方が「来てくれて、ありがとう」と温かく迎え入れて下さったのでほっとした気持ちになりました。

2回の研修を通し、参加者それぞれが自分の考えを出し合っても、差別を無くしていくための「正解」はなかなか見つからず、私は差別を無くすことの難しさを感じました。しかしながら、その考えを出し合った時間は、自分自身の差別意識と向き合う時間でもありました。差別を無くすことは難しいとわかった上で、それでも無くしたいと強く願い、行動し続けることが大切なんだと勉強させていただきました。今一度、自分自身の差別意識と向き合い、自分にできることを一つずつ行動していきたいと思います。
(広報部員 野浪 大輝)

三滝中学校1年生の標語(啓発委員が選んだ「いいね!」作品)

悪気ない そんなのただの 言い訳だ (坂本 椋)

助け合おう みんなのために とり戻そう 普段の生活 (小栗 珠蓮)



ともだちを 仲間はずれにしない (山口 桃花)

<講演> “気づき”から、人と人との関係を“築く”
～ダイバーシティ社会の実現をめざしてSDGsから考える～

講師:反差別人権研究所みえ
本江優子さんの講演会

- ★“ダイバーシティ社会”とは、人種、性別、障害がある・なし等に関わらず、多様な人々が共存・共生できる社会のこと。個々の「違い」を受け入れ、認め、活かしていくことが大切。
- ★SDGsとは、誰もが幸せに暮らし続けられるよう、みんなで協力して取り組むべき目標。合言葉は、『誰一人取り残さない!』一人ひとりが、自分にできることを考え実行しよう!

参加者のアンケートより

自分の中の「ふつう」「当たり前」を振り返ることで、今まで気づけなかったことに気づけたり、見えなかったものが見えるようになったりするのを感じました。『誰一人取り残さない』社会“すべての人が尊重され、違いを受け入れ、活かされる社会”を実現するために、今の自分にできることは何かを考え、小さなことでも行動に移していこうと思いました。



無意識の偏見・思い込み・とらわれ



※貸し出し用の講演DVD、センターにあります。

SDGsという言葉は何年か前から注目されるようになったと感じていたので新しい取り組みのように思っていました。しかし本江さんの言われるように、これまでわたし達が差別禁止、人権尊重社会の実現をめざしてやってきたことがベースにあるのだとすごく感じた。そのためにいかに多様性を認め合い、活かしていけるかが大切だと思う。それは私たち一人一人の意識、行動に掛っている。“他人事ではなく自分事”やれることからやっていくことが大切。私のやれることを私がやっていく、そしてそんな仲間を少しずつ増やしていくことをめざしてがんばっていきたい。

最近テレビ等報道でも「SDGs」をよく聞くようになったので、知っているつもりでしたが、今日の講演でより理解できました。自分が少し意識することで変わることで、『1人の百歩より、100人の一歩』も大事。人権・同和教育ともつながっていることも改めて分かりました。自分を見つめ直すいい機会になりました。

同推協啓発委員
募集中!

啓発委員になって頂ける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して頂き投函して下さい。申込用紙は置いてあります。

【問合せ先】地区市民センター内 団体事務局 ☎327-1501(午後受付)